

原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期前兆 長野北部領域大型地殻地震の可能性 続報
2/5±発生の可能性否定困難

右は八ヶ岳のCH21観測装置に昨年末以降出現した特異前兆4回と前兆終息の計5回の変化を過去の極大に対して対応させた可能性が否定できない関係です。全てが2月5日±2時期を示しています。

前号で報告致しましたとおり、11月より新規大型地震前兆と認識される地震前兆が複数観測装置に出現しだしています。FAX 又は E-mail で日々配信しております「地震前兆検知実験観測情報：公開実験」では、No.3061前兆として継続報告しております。

当該No.3061前兆は極めて顕著で、影響局（推定領域）の関係からNo.1778前兆でも前兆が出現した観測装置にも前兆が出現しております。しかしNo.3061前兆は突然顕著出現しておりますので、No.1778前兆とは識別しております。その上で八ヶ岳南麓のCH21に12/19に正常静穏基線に復帰（前兆終息）後に上の様な特異前兆短時間再出現が認められましたため、昨年夏以降出現認識の極大と対応させてみますと、上のとおり同じ時期を示す結果となりました。

従って、No.3061前兆出現以降の各前兆の現状の認識が正しく（No.1778前兆は既に終息、現在出現中の前兆はNo.3061と云う認識）CH21の変化を上のとおりと認識した場合には、2月5日±2にNo.1778前兆の対応地震が発生する可能性を否定できないこととなります。

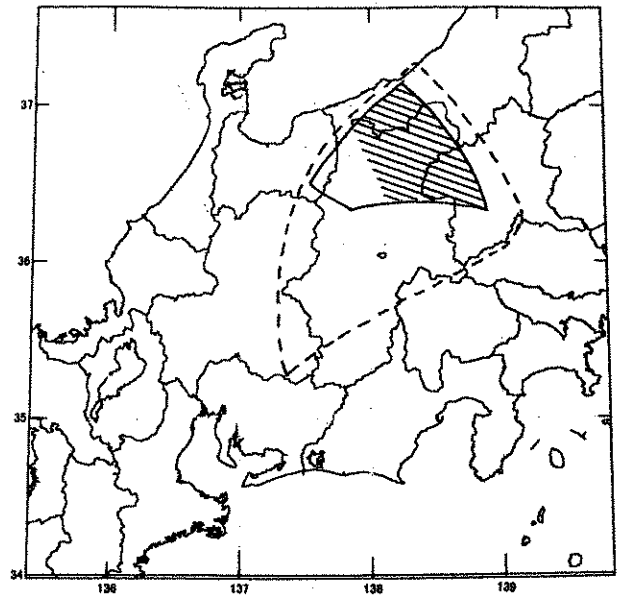
但しひとつ気になるのは、No.1778前兆として特異前兆が継続出現していた八ヶ岳南麓のCH17とCH20の特異前兆がまだ継続出現中です。この2観測装置の特異前兆もNo.3061前兆関連で出現しているのか否か決定困難です。

あくまでもCH21の変化を過去出現極大との関係を見たときに2月5日±を示すと言う状況証拠的な現状ではありますが、発生否定を示す強力な前兆変化が認められないため、一応No.3061前兆との識別ができていない場合を鑑み、2月5日±はご注意ください。

2月8日時点でNo.1778前兆の対応地震が未発生であった場合は、No.3061前兆との識別を失敗していることが確実となりますので、その後の前兆変化を鑑み、続報させて頂きたいと思っております。不確定部分がありますこと、お許し下さい。

★前号で記しました、大変深刻な前兆はNo.3061と前兆番号を付した地震前兆です。当初は01月中発生の可能性を否定できずでしたが、その後の観測で01月中発生の可能性は否定。02月中か03月となるかは、今後の前兆変化ではっきりします。No.1778前兆の別形態前兆として出現した可能性も検討していますが、調和しない部分もあり、No.1778が発生すれば明確となる部分もあります。公開実験（観測情報受信）の皆様にも相談致しましたが、公開すべき、公開すべきでないのご意見は様々でした。本観測法について熟知されている方が少なく公開実験にご参加の皆様以外は、どの程度の信頼性があるのか判断も困難なはず。そんな中で公開した場合、パニックが生じたり、問い合わせで観測解析ができなくなる等の最悪の事態も起こりえるため、発展途上段階の現状で公開すべきではない等のご意見もありました。但し、あくまでも実験的観

(2018)	(2019)
8/06.5極大	12/19終息 Tmap:Tpp=3.9:1
5/19.0極大	2月3日±3
8/06.5極大	12/22.7直前特異Tmap:Tpa=6:1
10/02.0極大	2月4日±3
11/02.0極大	1/5.0直前特異Tmap:Tpa=6:1
	2月4日±3
	10/02.0極大
	1/16.5直前特異Tmap:Tpa=6:1
	2月6日±3
	11/02.0極大
	1/19.5直前特異Tmap:Tpa=6:1
	2月4日±3



- ◆推定領域：上図点線内＝大枠推定領域
太線領域内＝可能性考えやすい領域
斜線領域内＝火山近傍で可能性高い推定領域
- ◆推定規模：M7.8±0.5
- ◆推定時期：2月5日±2 (2/5±1 可能性有)
※但しNo.3061前兆と識別ができていない場合はより後日となる。2月7日迄に発生無い場合は上記の可能性有となるため、今後の前兆変化を鑑み再考予定です。
- ◇推定地震種：震源浅い陸域地殻地震
火山近傍領域の可能性
- ◇推定発生時刻：午前9時30分±1

測で未完了手法ではあっても、発生が確定となった場合には数時間前でも公開すべきとのご意見も多数あります。人道的には確定となった場合には公開すべきとは思いますが、No.1778前兆とは別地震の可能性が高いという見解ですが、現段階ではまだ不確定部分も多々あり、No.1778前兆の別形態前兆なのか、本当に別の大型地震前兆なのか現段階では絶対と確定できません。実験観測情報では全てを報告しておりますが、本HP上に現段階で公開することはとてもできません。今後の観測で、No.1778とは別に大型地震として発生することが確実となり、発生日を確定できた場合には、発生一日前または当日となってしまっても知れませんが、本HP上に記したいとは思いますが、但し間に合わなかった場合は本当に申し訳ございません。可能な限り努力は致します。